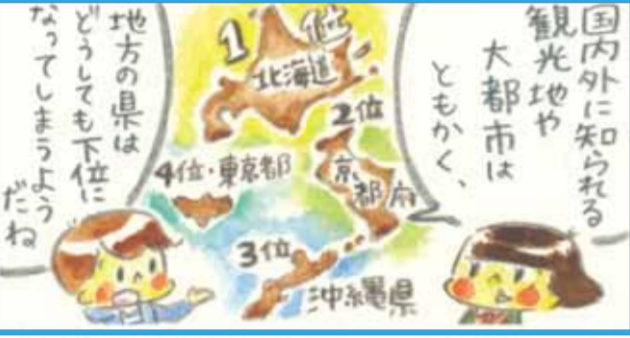




人形劇を通じて病気について理解を深める～オレンジキッズの取り組み～



子どもたちに病気で苦しむ年代の子どもたちへの理解を深めてもらいたい・・・和歌山県下の小学校を中心に、小児白血病の啓発活動として人形劇『だいたいぶマイちゃん』を上演している「オレンジキッズ」を紹介します。



「だいたいぶマイちゃん」は、人形劇の演出・脚本を手がけ、自らもひとり人形芝居で全国を巡演されている人形劇の第一人者である、くすのき燕さんの作品です。主人公のマイがつからい白血病治療のりこえ、地元小学校に帰ることができたよるこびと、勉強や周囲の偏見などに対する不安な気持ちを、友達とのケンカとナオミが理解し、あたたかく迎え、支えていくというストーリーです。

「オレンジキッズ」は、病気や障害による「困り」を持つ子どもへの理解啓発、児童生徒の認め合う心を育むこと、子どもが等しく学ぶことができる社会づくりなどを活動の目的とし、和歌山大学教育学部の武田研究室のOB・OGで結成したグループです。

09年12月、「難病の子ども支援全国ネットワーク」より人形を提うにすし、いじめをやめるように言いたい」など素直に感じたことを発表して病気の子どもをテーマにした人形劇によって、病気を理解するこ

「だいたいぶマイちゃん」は、人形劇の演出・脚本を手がけ、自らもひとり人形芝居で全国を巡演されている人形劇の第一人者である、くすのき燕さんの作品です。主人公のマイがつからい白血病治療のりこえ、地元小学校に帰ることができたよるこびと、勉強や周囲の偏見などに対する不安な気持ちを、友達とのケンカとナオミが理解し、あたたかく迎え、支えていくというストーリーです。

『だいたいぶマイちゃん』は、人形劇の演出・脚本を手がけ、自らもひとり人形芝居で全国を巡演されている人形劇の第一人者である、くすのき燕さんの作品です。主人公のマイがつからい白血病治療のりこえ、地元小学校に帰ることができたよるこびと、勉強や周囲の偏見などに対する不安な気持ちを、友達とのケンカとナオミが理解し、あたたかく迎え、支えていくというストーリーです。



演劇を見る子どもたちが、真剣で集中して見ている姿に、確実に何かを感じ、学んでいると感じたといえます。観劇の後は「小児がんについて知らなかった」、「抗がん剤の影響で髪が抜けている友達がいいたら笑わないようにするし、いじめをやめるように言いたい」など素直に感じたことを発表して病気の子どもをテーマにした人形劇によって、病気を理解するこ

カゴメ、カルビー、ロート製菓の3社が中心となって設立された「公益財団法人みちのく未来基金」では、東日本大震災で両親またはどちらかの親をなくした子ども、いわゆる震災遺児を対象に、高校卒業後の進学を支援する事業をおこなっています。

現代の子どもたちは昔では考えられないような複雑な社会の中で生活し、悩みや課題を多く抱えています。子どもたちの心を

とだけでなく、子ども同士がお互いを認め合い思いやる気持ちが育ち、さらに想像力や感性が豊かになるのではないのでしょうか。



災害への備えは、明日への備え

和歌山県災害復興基金



和歌山県災害復興基金(通称:備える基金)のロゴ

地元力財団には、地元を応援するさまざまな「寄付メニュー」があります。その一つがこちら「和歌山県災害復興基金(通称:備える基金)」です。和歌山県内で災害が発生した際、被災地の活動を迅速に支援し、また事前に災害に備える活動を支援するためのストック型基金です。平成二十三年九月に発生した紀伊半島大水害を受け、同月に特定非営利活動法人わかやま NPO センターが「紀伊半島災害復興基金」を設置。同年十二月には三団体に合計三十万円の助成を行いました。その後も「紀伊半島災害復興基金」への継続した寄付が実現し、南海トラフの巨大地震をはじめ、局地的災害を含め様々な災害に対する懸念が高まる中、基金の規模を拡大し、地域全体で災害に備える機運を構築するため、わかやま NPO センターと協議を重ねた結果、「紀伊半島災害復興基金」を当財団へ移管し、「和歌山県災害復興基金(通称:備える基金)」を昨年十二月に新たに設置する運びとなりました。

今日現在の備える基金の寄付総額は五十一万一千七百五十九円となっております。今後も災害への備えとして、本基金ではご寄付を随時受け付けております。ご質問やご相談がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせください。

※ご寄付をご希望の方は事前に和歌山地元力応援基金までご連絡ください。
※寄付額の30%が地元力財団の運営費となります。
※寄付募集により得た個人情報を、地元力財団と助成先団体間で共有します。

みんなで作る情報板 わかやまイベントボード

- 折り紙作品展

昭和30年から40年代にかけての和歌山を映した貴重な映像の数々を通してなつかしい和歌山の映像を見ませんか。
日時 2月4日(火) 14:00～15:30
場所 円明寺(和歌山市関戸2-9-3)
講師 和歌山市教育委員会文化振興課と「きのくにアーカイブ」のみなさん
参加費 無料
問い合わせ 遊び学び楽しむ「やすらぎ会」(073-444-0637・円明寺内)
- ベビー or キッズマッサージ & 「三つ子の魂」と早期教育

親子の関係は人間関係の基礎。スキンシップとあたたかい言葉のやりとりがママと子どもの栄養となり、思いやりと自立心を育てます。
日時 2月3日(月) 14:00～16:00
場所 どんぐりさんのおうちムク(和歌山市川辺458-2)
講師 森下敬子さん(ベビーマッサージ)、西川奈緒美(講義)
参加費 1500円(オイル希望者は別途実費)
問い合わせ・申込み ピュアママ(080-5323-2778・森下さん)
- 遊び学び楽しむ「やすらぎ会」

このほかの情報もたくさん掲載！「わかやまイベントボード」URL
PC版 http://eventboard.shiminjuku.jp/
携帯電話版 http://eventboard.shiminjuku.jp/m/

